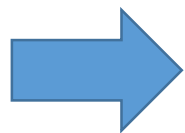


セッション6 将来計画および検討報告書の最終とりまとめに関する総合討論

- 2030年代以降の光赤外天文学～TMT中期以降、ポストすばる/SPICAの方向性、および革新的観測技術のシーズ
 - SKA関係(小林氏)
 - Athena、および日本のX線・ γ 線の衛星計画(松本氏)
 - ハイパー望遠鏡—系外惑星の解像に向けて—(馬場氏)
 - JTPF関係(小谷氏)
 - 2030年代以降の天文・宇宙物理学が目指すべきテーマ

午後

- 検討書の章立ての改訂
- スペースプロジェクトの進め方(含む 小型衛星)
- 検討書のとりまとめのスケジュール



検討報告書 6章「全体計画の推進」のとりまとめへ

ケース2: SPICAの打ち上げが2030年代にずれ込む場合

